

産業政策と法Ⅰ

科目ナンバリング POL-205
選択 2単位

徳力 徹也

1. 授業の概要(ねらい)

本講義においては、政策の必要性・政策の内容について、経済・産業政策の理解に必要となる基礎理論(公共経済論・公共哲学の初歩)の観点から説明します。必要に応じて、みなさんの間で政策の必要性・政策の内容について討議していただきます。

2. 授業の到達目標

①本講義は、主として経済に関する政策を主たる対象として、「社会の仕組みや現代社会の多様な問題の本質を分析することができるようになることを目標とします。

②具体的には、具体的には、政府の政策形成について、目的-手段の観点から理解(目的-手段型思考)できるようになること、特に、経済・産業に係る政策・経済規制の必要性・内容を他者に説明できる程度の理解を得ることを目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

基本的に期末試験結果(50%)、課題提出・小テスト・授業での発言等(50%)に基づき評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

なし

参考文献

なし

5. 準備学修の内容

各講義のレジメを事前にLMS掲載するので、当該レジメを読み、問題を検討してください。
レジメに記載された課題を検討した上で、レポート提出又は授業内で報告(発表)してください。
なお、政府・経済活動に係る新聞記事等を読むように努めてください。

6. その他履修上の注意事項

講義中の私語を厳禁とします。

7. 授業内容

- 【第1回】 概要(講義の目的・概要・進め方)
- 【第2回】 経済・産業の基礎知識①:市場経済の機能(市場による需給均衡)(課題提示)
- 【第3回】 経済・産業の基礎知識②:経済の望ましさの判断基準とは:余剰分析(課題提示)
- 【第4回】 経済・産業の基礎知識③:余剰分析を利用した政策の当否の検討(課題提示)
- 【第5回】 政策の必要性①:公共経済論①(市場の失敗:公共財とその対処・外部性とその対処)(課題提示)
- 【第6回】 政策の必要性②:公共経済論②(市場の失敗:情報の非対称性とその対処)(課題提示)
- 【第7回】 政策の必要性③:公共経済論③(最近の議論:巨大企業を分割すべきか否か?)
- 【第8回】 政策の必要性④:公共経済論④(格差是正のための政策・規制:所得移転政策等)
- 【第9回】 政策の必要性⑤:マクロ経済政策(財政政策等)(課題提示)
- 【第10回】 これまでの講義の復習(経済政策の目的は・手段は?)
(補)政策形成過程と政府の失敗:概要(詳細公共政策論Ⅱ)
- 【第11回】 政策と経済・社会思想①(総論:功利主義)
- 【第12回】 政策と経済・社会思想②(リベラリズム・リバタリアニズム)
- 【第13回】 政策と経済・社会思想③(コミュニタリアニズム+その他)(課題提示)
- 【第14回】 具体的事例(政策)の検討(目的・手段の観点から)をしよう
- 【第15回】 まとめと期末試験